

全長6.0kmの緑道は、四季折々に開花する花の回廊としての並木道。広場にはベンチ、すべり台等も整備され、地域住民の憩いの場として広く親しまれている。



高島町は、古くは伊達宗遠が居住した城下町で、山形県の南部東端に位置する。町の東部は奥羽山脈に連なる山岳

地帯であり、中央西部は米沢盆地に属する田園地帯が開けている。「まほろばの緑道」は、大正九年か

ら昭和四九年まで町民の足として利用された地方鉄道山形交通高島線の敷地跡地に整備された都市公園であり、その整備にあたっては町民から寄せられたアイデアや要望等が反映されている。全長六キロメートル、平均幅員九メートルの軌道敷地跡に幅員三メートルの園路を整備し、両側にはサクラを中心に四季折々に開花する樹木や草花のほか、リンゴやブドウの果樹を植栽し、花の回廊というべき並木道として整備を図った。

緑道では、毎年一〇月にまほろばマラソン大会が開催されるほか、サイクリング大会や植樹祭などの各種の催しが行われ、町のコミュニケーションの場として盛んな利用がなされている。

データボード④

- ① 山形県高島町
- ② 高島町役場 ☎0238-52-1111
- ③ 延長約6.0km、幅員約9.0km
- ④ サクラ、リンゴ、ブドウ、休憩所、遊戯所
- ⑤ まほろばマラソン大会、サイクリング大会、植樹祭、写生大会、芋煮会、花見